

## 2009 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	社会福祉	学科
担当科目	社会福祉基礎演習		

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

秋学期は小クラスでの発表と一緒に参加させていただいたり、自分自身でも考えお話する機会が多くありました。1回生の皆さんと一緒に学ばせていただいたなと感じています。しかし、私の中で最も印象深いことは、やはり卒論などについて発表させていただいたシンポジウムです。自分の研究内容やその時の苦労や喜び、達成感について、皆さんの前で発表させていただくことで思いや考えを整理する良い機会であったと思っています。

ゼミの担当教諭である野村先生の前での発表は大変緊張するものではありませんでしたが、授業の中で自分が発表するという機会はなかなか与えてもらえるものではないので、とても感謝しています。また、他のチューターのお話を聞く機会というのもあまりないので、とても有意義な時間を過ごさせていただくことができました。それぞれの卒論への思いや悩みを聞くことができたおかげで、自分との違いや共通点を見出すことができ、自分にとってプラスになるものでした。1回生へのメッセージも、それぞれがこの4年間で経験し感じてきたことがあってのお話だったので、普段は聞いたり話したりすることのないものもあり、1回生とともにとても興味深くお話を聞いたのではないかなと思っています。

チューターというお仕事をさせていただけたことは、これからの私自身にとって大きな宝物になったと思っています。1回生のお役に立つというよりは私自身のプラスになったという感じで、本当に幸せに感じています。私が4回生の時にこのようなシステムが導入されたことを本当に嬉しく思っています。1回生の皆さんのこれからの大学生活に少しでもお役に立てることがお話しできていれば、と願っています。1回生の皆さんのあと3年間の大学生活の中で、そういえば前に4回生の方がこんな風に言っていたなと、頭の片隅にでも私たちの想いが残っていてくれれば良いなと感じるばかりです。

<今後のチューターまたは先生への提案>

本当に先生方にはご迷惑をおかけしたことと思います。忙しい中で私たちにシンポジウム等の機会を与えて下さったことに本当に感謝しています。

このような機会を、後輩の方たちにも与えてあげてほしいなと思っています。

本当にありがとうございました。